

一般社団法人 日本地質学会関東支部

2011年4月24日(日)

2010年度 活動報告



## 2010年度 活動方針

一般社団法人化に伴い、これまで以上に社会との接点をより強くし、関東支部が掲げてきた『社会に根ざした地質学』を実践していく

以下の、方針を掲げ様々な企画を立案・実行する。

- 1) 地質学の社会に向けた普及・広報活動
- 2) 多様な分野の会員へのサービス提供
- 3) 2011年水戸大会の準備・活動



## 1) 地質学の社会に向けた普及・広報活動 ①

### ○ ジオパーク活動への協力

ジオツアー「一味違った秩父札所巡り」

【秩父札所をめぐる盆地と山地の境を歩く】

〔日程〕：平成23年2月6日（日）

9時10分 和銅黒谷駅（秩父鉄道）集合 参加受付当日

16時頃解散

〔参加費〕：100円（保険代）

〔コース〕：和銅黒谷駅→瑞岩寺→札所一番四萬部寺→札所二番真福寺（昼食）→札所四番金昌寺→札所五番語歌堂→新田橋→札所九番明智寺→横瀬駅（西武鉄道）：全行程 約13Km

〔案内者〕小幡喜一（埼玉県立熊谷高校教諭）ほか



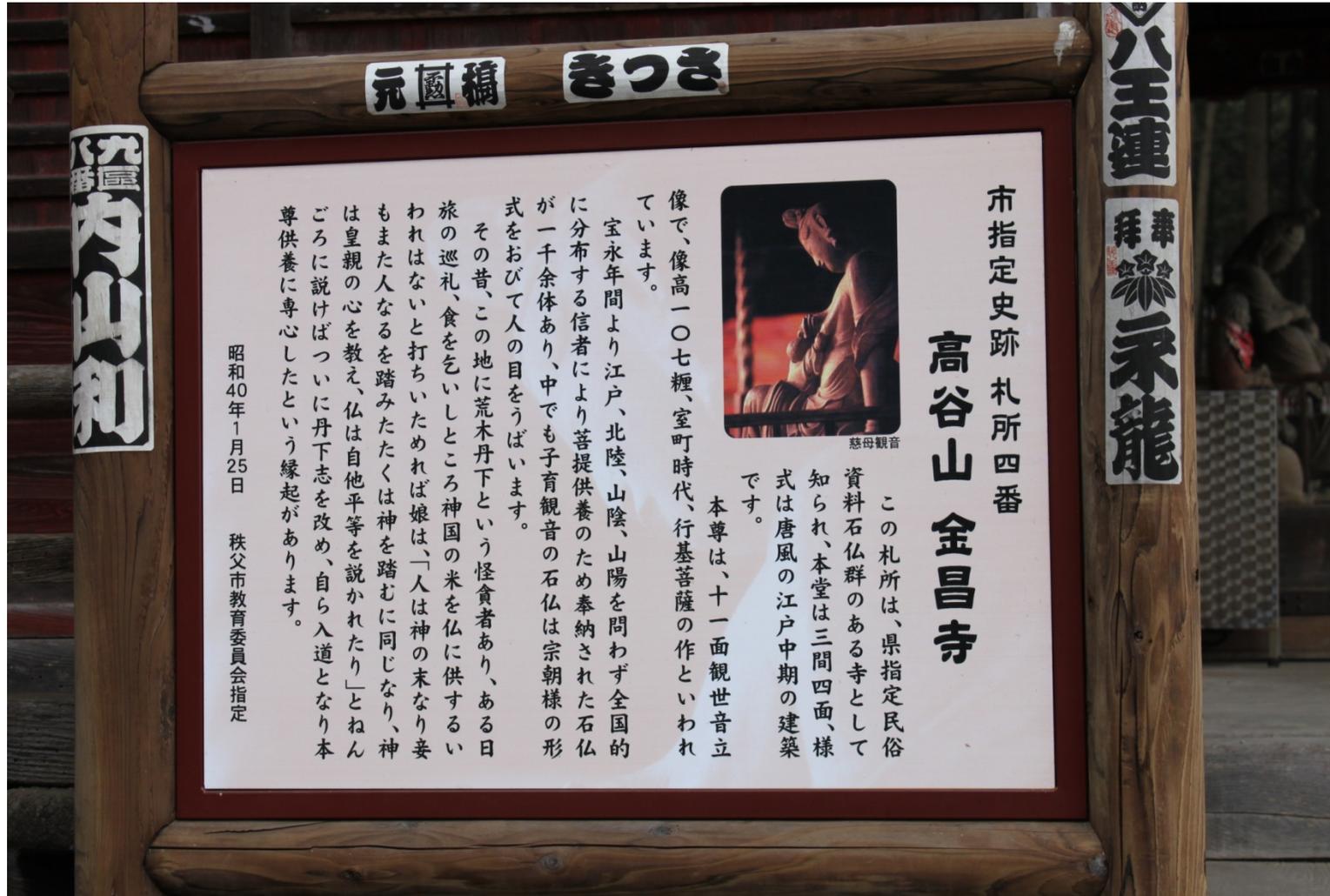
## 和銅黒谷駅(秩父鉄道)集合



# 瑞岩寺



# 札所四番金昌寺



## 1) 地質学の社会に向けた普及・広報活動 ②

【秩父札所をめぐり荒川がつくった段丘を歩く】

[日程]:平成23年3月6日(日)

9時30分 秩父駅(秩父鉄道)集合 参加受付当日 16時頃解散

[参加費]:100円(保険代)

[コース]:秩父駅→妙見七つ井戸→札所十八番神門寺→札所十九番龍石寺→秩父橋→札所二十番岩之上堂→札所二十一番観音寺→新田橋→札所二十二番童子堂→札所十六番西寺→市立病院下の段丘→札所十七番定林寺→秩父神社→札所十五番少林寺→札所十三番慈眼寺→西武秩父駅(西武鉄道):全行程

約10Km

[案内者]小幡喜一(埼玉県立熊谷高校教諭)ほか

主催:秩父まるごとジオパーク推進協議会

後援:日本地質学会関東支部

運営:NPO法人 秩父まるごと博物館



## 秩父駅(秩父鉄道)集合



# 妙見七つ井戸



# 武甲正宗試飲



# 荒川沿い段丘面を臨む



## 2) 多様な分野の会員へのサービス提供 ①

### ○ コンサル・学生対象

地質技術伝承講習会(過去2年を継承)

第1回 (昨年度 総会時)

日時:2010年4月18日(日)13:30~16:00

場所:北とぴあ 7階 第1研修室

講師:千葉 達朗氏(アジア航測株式会社)

テーマ:赤色立体地図による新しい地質調査技術

共催:関東地質調査業協会

後援:一般社団法人 日本応用地質学会



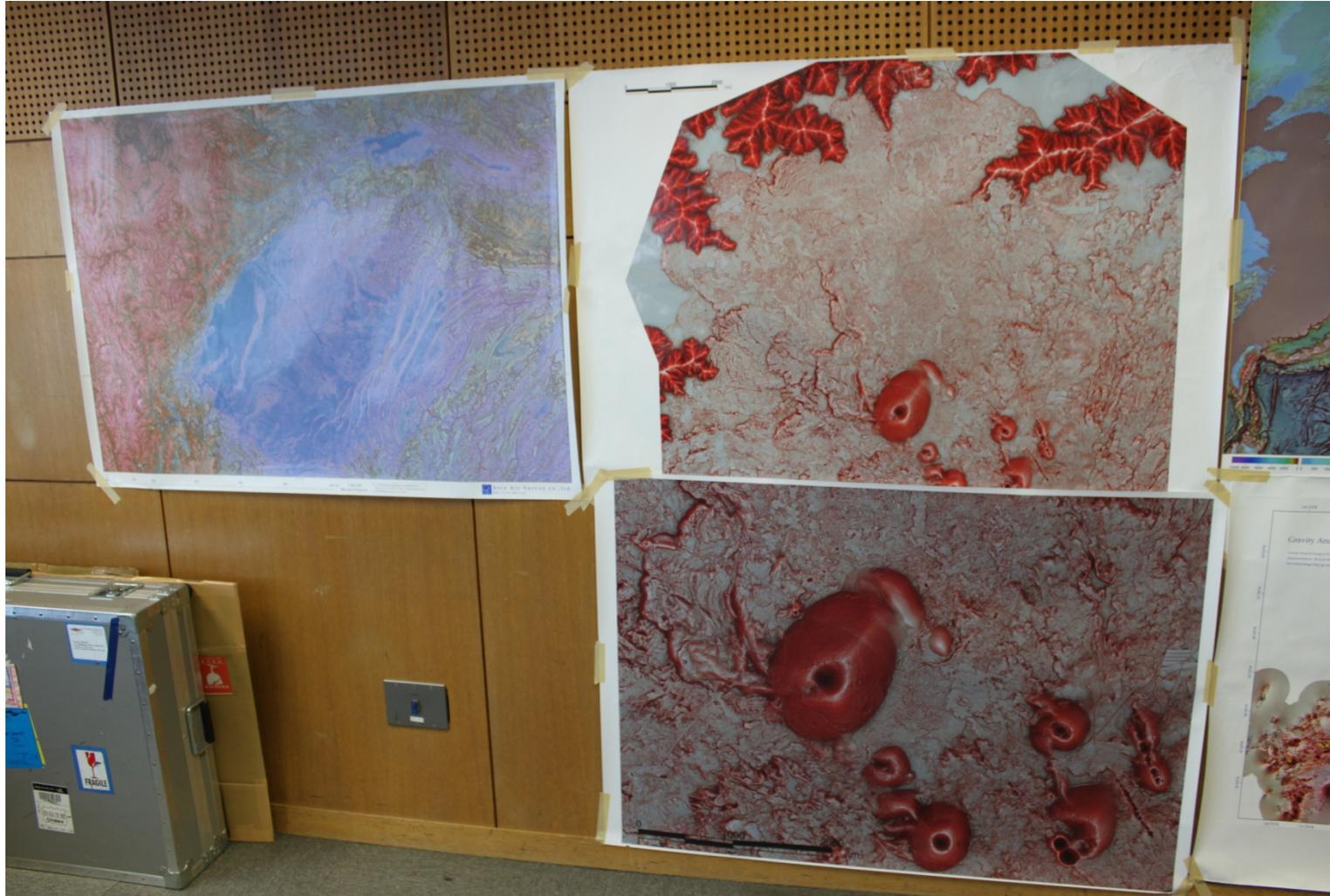
講師:千葉 達朗氏(アジア航測株式会社)



## 会場の様子



# 赤色立体地图



## 2) 多様な分野の会員へのサービス提供 ②

### 第2回

日時:2010年6月6日(日)14:00~16:30

場所:北とぴあ 7階 飛鳥ホール

講師:中村 裕昭氏(株式会社地域環境研究会)

テーマ:共生型地下水利用に向けての「育水」の提唱

共催:関東地質調査業協会

後援:一般社団法人 日本応用地質学会



講師：中村 裕昭氏(株式会社地域環境研究会)



# 会場の様子



## 会場からの質問・討論



## 2) 多様な分野の会員へのサービス提供 ③

### ○ 研究者・学生・コンサル・教育関係

学術シンポジウム(2日間:他学会との共催)

シンポジウム「関東盆地の地下地質構造と形成史」

日時:2010年11月20日(土)~21日(日)

場所:日本大学文理学部3号館5階

A:シンポジウム会場

1日目:「首都直下のプレート地殻構造と地震発生」

2日目:「関東平野の形成と進化の新しい見方」

B:ポスター会場

両日:関東平野下の約500kmにわたる反射測線のプロフィール



# シンポジウム「首都直下のプレート地殻構造と地震発生」

11月20日(土) 10:00-12:00, 15:00-17:00 シンポジウム会場

開会の挨拶(日本地質学会伊藤谷生関東支部長), 物理探査学会内田利弘会長, 東京大学地震研究所平田直所長, 日本応用地質学会協坂安彦副会長, 東京地学協会松田時彦会長

座長:加藤直子

10:15-11:05

S-1 首都圏における地下構造探査:堆積平野からプレートまで

.....佐藤比呂志・笠原敬司・平田直・岩崎貴哉・加藤直子・伊藤谷生・木村尚紀・中山俊雄・阿部進・須田茂幸・川崎慎治・斎藤秀雄・大西正純・川中卓・井川猛・太田陽一

11:05-11:30

S-2 首都直下の地震の姿に迫る:MeSO-netによる成果

.....平田直・酒井慎一・中川茂樹・加藤愛太郎・蔵下英司・楠城一嘉・パナヨトプロスヤニス・小原一成・笠原敬司・明田川保・木村尚紀

11:30-12:00

S-3 MeSO-netのトモグラフィ解析による首都直下のプレート構造

.....中川茂樹・加藤愛太郎・酒井慎一・蔵下英司・パナヨトプロスヤニス・小原一成・笠原敬司・明田川保・木村尚紀・平田直

15:00-15:30

S-4 伊豆・小笠原弧の衝突による関東地方の長期地殻変動シミュレーション

.....橋間昭徳・佐藤利典・伊藤谷生・宮内崇裕

15:30-16:00

S-5 地震波干渉法によって推定された関東平野の地下構造

.....吉本和生・平田直・笠原敬司・小原一成・佐藤比呂志・酒井慎一・鶴岡弘・中川茂樹・木村尚紀・棚田俊收・明田川保・中原恒・木下繁夫

16:00-17:00 総合討論(プロフィールメイン)



# ポスター(反射測線プロフィール)

コアタイム 13:30-15:00 5階フロア

ポスターセッション展示測線図

- a. 小田原-飯能-幸手統合測線、 b. あきる野-印西統合測線、 c. 八王子-木更津沖統合測線、
- d. 三島-藤沢測線(相模湾測線)
- e. 江東-姉崎-一宮統合測線

1. 行田-狛江統合測線、 2. 幸手-松戸統合測線、 3. 手賀沼-横須賀-伊東統合測線、 4. 千葉-富津沖統合測線

5. 小田原-道志測線、6. 桂-白浜沖測線

A. 桐生-小田原測線(関東山地東縁測線)、 B. 小田原-山梨測線、 C. 白浜-鹿嶋測線(房総半島縦断測線)

D. 三島-藤沢(相模湾測線)、 E. 伊東-横須賀-浦安測線(相模湾-東京湾縦断測線)

.....佐藤比呂志・笠原敬司・平田 直・岩崎貴哉・加藤直子・伊藤谷生・木村尚紀・中山俊雄・阿部 進・須田茂幸・川崎慎治・斎藤秀雄・大西正純・川中 卓・井川 猛・太田陽一

C1. 金谷沖-館山湾(BOSO 2008; 千葉大学)、 C2. 勝浦-布良沖(BOSO 05; 千葉大学)

C3. 小湊沖-野島崎沖(Bo2007; 千葉大学)、 C4. 小湊沖-野島崎沖(Bo2005; 千葉大学)

.....伊藤谷生・津村紀子・山本修治・古屋 裕・浅尾一巳・須田茂幸・井川 猛・阿部信太郎・荒井良祐



# シンポジウム「関東平野の形成と進化の新しい見方」

11月21日(日) 10:00-12:00, 15:00-17:00 シンポジウム会場

10:00-10:10

開会の挨拶(日本第四紀学会遠藤邦彦会長), 日本地質学会星 博幸行事委員長, 水戸大会岡田 誠実行委員会事務局長, 趣旨説明(日本地質学会関東支部幹事小田原 啓)

座長:小田原 啓

10:10-10:40

S-6 東京地下の上総層群テフラと関東平野の形成史 .....鈴木毅彦

10:40-11:10

S-7 過去の関東地震の履歴—最近の知見— .....宍倉正展

11:10-11:40

S-8 伊豆衝突帯—関東平野の第四紀テクトニクス.....石山達也・佐藤比呂志

11:40-12:10

S-9 ボーリング試資料解析に基づく関東平野中央部, 綾瀬川断層周辺の地質構造モデル.....水野清秀・松島絃子・木村克己・納谷友規・八戸昭一・本郷美佐緒

15:00-15:40

S-10 日本海の拡大からみた関東平野の基盤構造.....高橋雅紀

15:40-16:20

S-11 地震探査の進捗と地質・地殻構造研究の新展開:房総半島を例とし.....伊藤谷生・浅尾一巳

16:20-17:00 総合討論・閉会の辞(日本地質学会山本高司関東支部幹事長)



# 一般講演 ポスター発表

11月20日(土), 21日(日)両日 ポスターコアタイム 13:30-15:00 5階フロア

- P-1 地質地盤情報協議会による新たな提言書「地質地盤情報の利活用とそれを促進する情報整備・提供のあり方」の出版  
.....栗本史雄・佐脇貴幸・角井朝昭・松島喜雄・地質地盤情報協議会
- P-2 関東平野の更新世沿岸珪藻化石に関する新知見.....納谷友規
- P-3 関東平野中央部に分布する中期更新世テフラの記載岩石学的特徴  
.....坂田健太郎・中澤 努・中里裕臣
- P-4 5万分の1地質図幅「野田」にみられる第四系の層序と地質構造  
.....中澤 努・田辺 晋
- P-5 千葉県流山市に掘削されたGS-KW-2の地蔵堂層からの有孔虫化石  
.....金子 稔・石川博行・野村正弘・中澤 努
- P-6 東京低地と中川低地における最終氷期最盛期以降の古地理  
.....田辺 晋・中西利典・石原与四郎
- P-7 多摩丘陵の上総層群(下部更新統)産介形虫化石群と産出意義  
.....小沢広和・石井 透
- P-8 東京首都直下の第四紀断層の分布が意味するもの.....豊蔵 勇・中山俊雄・島崎邦彦・山崎晴雄・須藤 宏・青砥澄夫・福井謙三・松崎達二・渡辺平太郎・川田明夫



## 多くの学会と共催・後援

- 共催：日本第四紀学会
- 後援：日本応用地質学会、日本物理探査学会、東京地学協会、東京大学地震研究所、日本大学文理学部
- 参加者：両日 **220名 延べ300名**
- 多くの研究機関の成果(反射プロファイル)を一斉展示
- 水戸大会に向けた大きなステップ



# 日本第四紀学会 遠藤会長挨拶



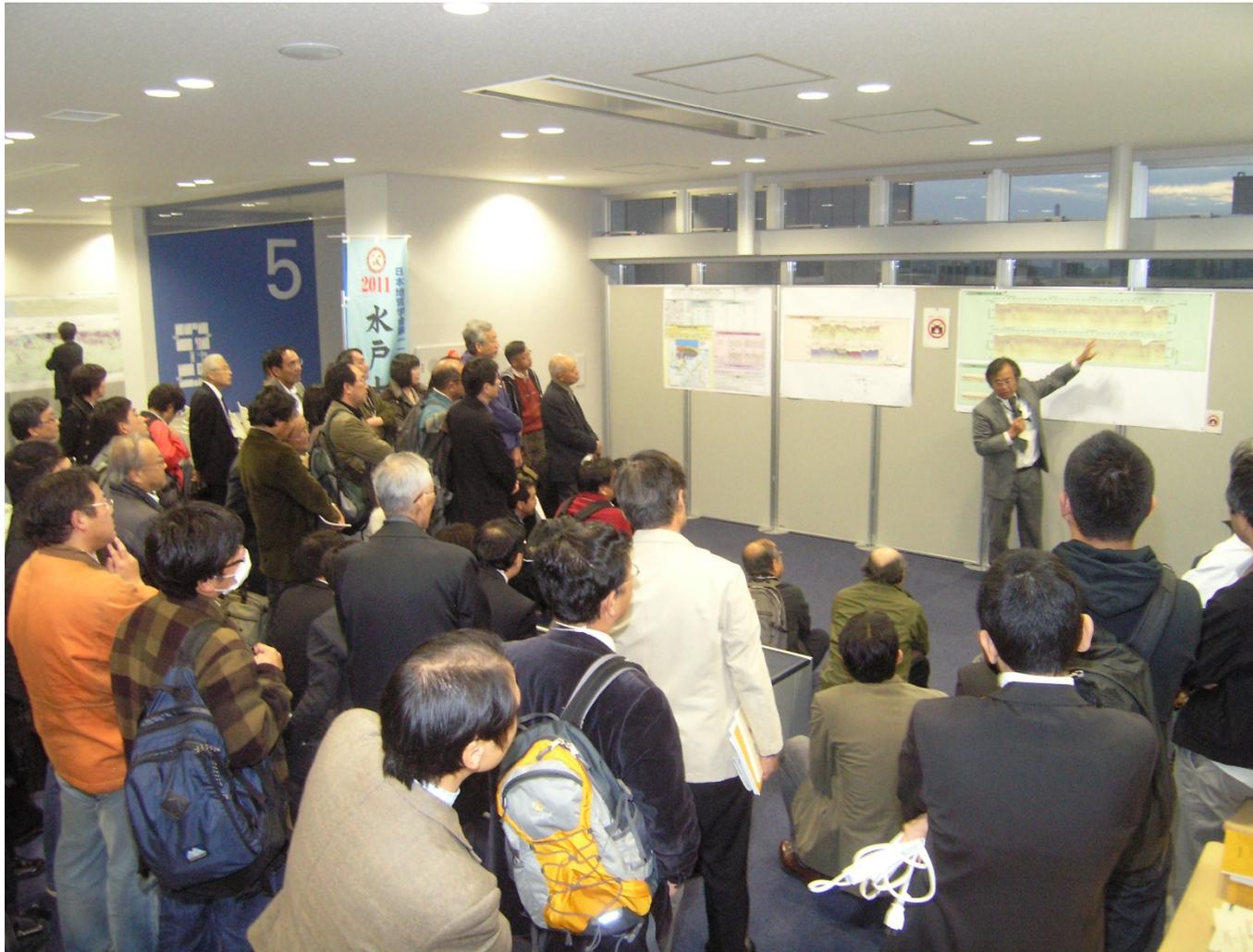
## 立見の会場(会場: 日本大学)



# 反射測線のプロフィール



# ポスターコアタイムの討論



## 懇親会 (各社の業務アピール)



### 3) 2011年水戸大会の準備・活動

- 富山大会参加(2010年9月18日～21日)  
受付・会場状況確認、懇親会にて水戸大会アピール
- 正式名称決定  
日本地質学会118年学術大会・日本鉱物科学会  
2011年合同学術大会(水戸大会)  
日時:2011年9月9日(金)～11日(日)  
場所:茨城大学
- 見学会準備、編集委員会の分担
- シンポジウム分担



# 富山大会にて水戸大会をアピール



# 水戸大会成功を目指せ



## 支部規約改正（定足数・顕彰制度）

- 支部顕彰制度に関して議論

本会とは別に支部活動への貢献を評価する制度が必要

暫定処置（2010年） 感謝状審査委員会発足 7月

8月募集 清水恵助氏に決定（3月号報告）

- 規約改正（本日 提示）

- ・支部幹事数30名以内→20名（現行15名で活動）

- ・幹事長職の設置

- ・総会成立 1/20（2010年度改定） 今回より実施

- ・顕彰制度規約の追加



## 感謝状授与(伊藤支部長より清水恵助氏へ)



## 感謝状・記念品とともに



# 一般社団法人日本地質学会関東支部規則（モデル案：理事会案 一部修正）（2011年4月24日）

第1条 一般社団法人日本地質学会(以下地質学会という)の定款第2条第2項に基づき一般社団法人日本地質学会関東支部をおく(以下関東支部という)。

第2条 関東支部の所在地は別途定める。

第3条 関東支部は、一般社団法人日本地質学会(以下地質学会という)運営規則第10条により、当該支部として区分された都道府県に住所登録している、地質学会の正会員をもって組織する

第4条 関東支部は、定款第3条にあるこの学会の目的に沿って、当該地域を活動の中心として事業を行う。

2 関東支部は、一般社団法人日本地質学会理事会規則第14条に定める支部長会議ならびに同選挙細則第5条第3項の支部選出理事との間で意思の疎通を図り、学会の目的達成と発展に寄与することとする。

第5条 関東支部には次の役員を置く。

支部長 1名

幹事長 1名

幹事 20名以内(←30名)

監事 1名

2. 役員任期は、以下に定める関東支部総会(以下支部総会という)から翌々年の支部総会までの2年とし、再任は妨げない。

3. 役員選任は関東支部総会において行い、地質学会の理事会に報告する。役員選出方法および役員に欠員が生じた場合については別に定める。

第6条 関東支部の会議は定例総会および幹事会とする。

第7条 支部総会は支部長が招集する。

2. 幹事会は支部長が招集する。開催については別に定める。

第8条 関東支部の事業計画および予算ならびに事業報告、決算報告は支部総会において承認し、理事会の承認を得ることとする。

第9条 支部総会は、支部会員現在数の20分の1以上の出席をもって成立する。あらかじめ書面または電磁的方法により意思表示したものは出席者とみなす。

2. 総会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数の時は議長が決定する。

第10条 関東支部の会計は地質学会の事業費、寄付金およびその他の収入をもって行う。

第11条 関東支部の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日までとする。

第12条 関東支部規則は、学会運営規則第11条に基づき支部総会において定める。

2. 本規則は総会出席者の3分の2以上の議決により変更することができる。

第13条 支部は、支部活動に多大な功勞・貢献があったと認められる個人、団体等を、別途定める規則に基づき顕彰することができる。

第14条 支部の運営に必要な事項はこの規則に定めるほか、幹事会の議決により別に定める。

附則

本規則は、2011年4月24日より施行する。



# 一般社団法人日本地質学会関東支部顕彰規則

第1条 この規則は、一般社団法人日本地質学会関東支部（以下「支部」という）規則第13条に基づき、個人、団体等を顕彰するために定めたものである。

第2条 顕彰は、支部会員・非会員を問わず、支部活動に多大な功労・貢献があったと認められる個人、団体等に対して行う。

第3条 顕彰候補者の公募、受賞者の選考・決定および選考結果の報告は、顕彰選考委員会（以下「選考委員会」という）が行う。

第4条 選考委員会は、支部幹事会が推薦する5名以内の支部会員で構成し、互選により委員長をおく。委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

第5条 候補者の公募に関する告知は、News誌およびジオフラッシュで行う。

第6条 支部会員は、推薦理由（書式自由）を添付して、自薦または他薦により候補者を推薦することができる。

第7条 選考結果は、支部総会に報告するとともに、News誌およびジオフラッシュに掲載する。

第8条 授賞式は支部総会で行い、受賞者に賞状を授与する。また、副賞を贈呈することができる。

附則 本規則は、2011年4月24日から施行する。



# 2010年度 会計報告

科目	支部合計	支部の管理活動	地質技術伝承講習会	支部シンポジウム	支部地質見学会	備 考
<b>1.事業活動収支</b>						
<b>事業活動収入</b>						
寄付金収入	90,000	0	0	90,000	0	企業からのシンポ賛助金9口×10000円
補助金収入	47,050	0	47,050	0	0	技術伝承・共催の関東地質調査業協会から補助
事業収入	340,000	0	0	340,000	0	
受託事業収入	0					
研究事業収入	310,000	0	0	310,000	0	シンポ参加155名×2000円
普及・教育事業収入	0	0	0	0	0	
出版事業収入	30,000	0	0	30,000	0	講演資料集30部×1000円
雑収入	6	6	0	0	0	
受取利息収入	6	6				銀行口座利子
その他収入	0	0	0	0	0	
事業活動収入計	477,056	6	47,050	430,000	0	
<b>事業活動支出</b>						
<b>事業費支出</b>						
事務費支出	145,756	0	0	145,756	0	
旅費交通費支出	0			0	0	
通信運搬費支出	20,485	0	0	20,485	0	
消耗品支出	17,646		0	17,646	0	
印刷製本費支出	107,625		0	107,625	0	シンポ講演要旨集印刷
施設費支出	219,050		10,100	208,950	0	
賃借料支出	219,050		10,100	208,950	0	
事務局賃借料支出	0					
その他賃借料支出	219,050		10,100	208,950	0	技術伝承講習会会場、シンポポスターパネル
光熱水料費支出	0					
什器備品費支出	0					
保険料支出	0		0	0	0	
諸謝金・会費支出	94,000		40,000	54,000	0	講師謝金(千葉氏, 中村氏), シンポ学生バイト
雑支出	0		0	0	0	
事業費支出計	458,806		50,100	408,706	0	
事務費支出	35,750	35,750				
旅費交通費支出	35,750	35,750				幹事交通費(幹事会出席・イベント運営)
通信運搬費支出	0	0				
消耗品支出	0	0				
印刷製本費支出	0	0				
施設費支出	18,700	18,700				
賃借料支出	18,700	18,700				
事務局賃借料支出	0					
その他賃借料支出	18,700	18,700				総会会場費
雑支出	0	0				
管理費支出計	54,450	54,450				
事業活動支出計	513,256	54,450	50,100	408,706	0	
<b>事業活動収支</b>	<b>▲ 36,200</b>	<b>▲ 54,444</b>	<b>▲ 3,050</b>	<b>21,294</b>	<b>0</b>	
当期収支差額	▲ 36,200					
前期繰越収支差額	0					
次期繰越収支差額	▲ 36,200					